

令和 かわら版 諏訪形

第36号
諏訪形自治会
会長 水石 康

寿賀の会がありました

九月十四日(日)、諏訪形自治会主催で寿賀の会が開かれました。

当日はあいにくの小雨模様でしたが、ちよと皆さんがお見えになる時間帯と帰宅される時間帯は雨がやむという、なかなかのタイミングに恵まれました。



本年度末(来年度三月末)までに八十歳以上になられる地域の先輩の皆さん方四十人ほどにご出席いただき、和やかな時間を過ごさすことができました。



主催者のあいさつなどの後、三つのアトラクションが行われました。最初は山丸先生のご指導で、公民館のクラブとして活動している「ベルフラワーズ」のみなさんによるミュージックベル(ハンドベル)の演奏です。諏訪形讃歌やみかんの花咲く丘など、おなじみの曲を美しい音色で披露してくださいました。続いて、館のクラブとして活動している「おどりの会」の宮島さんと柳澤さんによるおどりが披露されました。最後は、かてりやの会の大林さん、金井さんによる愉快な「替え歌(サザエさん)と「北国の春」の爆笑替え歌」を参加者みんなで歌い、手拍子なども入って、おおいに盛り上がりしました。

アトラクションの後は食事です。時々顔を合わせている人同士はもちろんですが、中には久しぶりに顔を合わせる方もおられ、和やかな食事を会となりました。

十一時半過ぎには雨もやみ、来年のこの会での再会を約束しながら、お開きとなりました。皆さん、また来年もお元気でお目にかかりましょう！



上田市諏訪形太陽光発電施設地元報告会が開催されました

八月三十一日(日)、城下地区各自治会の皆さん、土屋上田市市長や市の担当者、施工者の(株)日本エコーソー、七十人あまりが参加して諏訪形公民館で「上田市諏訪形太陽光発電施設地元報告会」が開催されました。

脱炭素、自然エネルギーの活用が求められる現在、基本的には「太陽光発電」そのものは推進されるべきものと考えます。ただ、この「上田市諏訪形太陽光発電施設」は東山麓の急傾斜造成地に計画されたもので、土砂崩落などによって地域住民の生活に大きな問題を与える可能性が危惧されるものでした。

この発電施設については、計画が浮上した二〇一五(平成二十七)年から地元九自治会で組織された「東山麓下地区メガソーラー設置反対期成同盟会(省掛勝也会長・宮下省二幹事長)」が中心となって活動し、業者側の必ずしも丁寧とは言えない対応や、太陽光発電施設用地の約六十%が市が指定する「レゾナンスゾーン」であるにもかかわらず、それについて誤った説明を行うなどの違反行為に対し、全部で八回の地元説明会を開催するなど、前例や経験がない中、手探りで粘り強く取り組んできました。その結果、調整池や斜面および水路整備など多岐にわたって数多くの安全確保策を業者との間で約束することができ、実現しました。



また、上田市当局の努力もあって、上田市では県内初となる「上田市太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」を策定するなどの成果も挙げてきました。上田市側では、この条例を実際の運用をしながら、本年十二月の市議会が条例の見直し(改正)を提案する、とのことですが、なお、同じ業者が御所地籍で計画していたレッドエリア(市が指定する設置抑制エリア)内への発電施設設置は取りやめとなり、別の場所への計画変更となりました。このことも、住民の安全保護の面からの大きな成果であると思います。

当日は、七月の完成検査を受けて、今後の維持管理について心配する意見が多く出されました。やはり現在の荒っぽい天気や防草シートの不備などについての業者の対応を心配する声がありました。また、地盤の動態観測のあり方、発電故障時の対応、発電事業終了後の撤去に関する点など、多方面にわたる懸念も示されました。

この太陽光発電施設の稼働は今後二十二年間に渡って続きます。今回の報告会を持って、この問題は一区切りとはなりますが、地域としては今後も「安全・安心な日常生活」の観点から見守っていく必要があることと思います。

なお、地元期成同盟会の活動に専門的な技術面からの深い知見をもつてご助言いただいた、中村の小野澤義和さんが昨年、お亡くなりになりました。このような成果を挙げることができたことに感謝申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。

投稿：地元期成同盟会

諏訪形誌活用委員会主催イベント(最終回)「諏訪形の石像遺物を巡る」が開催されました

五年間にわたって諏訪形誌活用委員会主催のイベントとして行われてきた「諏訪形誌を歩く」が最終回を迎えました。五年前「せつかく出版した『諏訪形誌』を死蔵させない」ことを目的として発足した諏訪形誌活用委員会では、五年間という限られた期間でウォーキングや講演会などのイベントを実施してきました。開始から丸五年が過ぎ、いよいよ今回の第二十一回イベントが最終回となりました。



九月二十日(土)は、「諏訪形の石像遺物を巡る」をテーマに実施しました。公民館での北沢伴康諏訪形誌活用委員会顧問の講演のあと、地区内の石像文化財や石造遺物を巡るウォーキングを行いました。「カンカン石」は有名ですが、荒神宮や諏訪神社の境内にもたくさん石造遺物が見られます。

先にも述べたとおり、このイベントは五年間で二十一回開催されましたが、すべて晴天という幸運に恵まれました。当日は委員もあわせて十六人の参加があり、石造遺物を見学しながら、ようやく秋の気配が漂い始めた(?)諏訪形を散策しました。



ご参加いただいた方からは次のようなご感想をいただきました。少しも変わることなく、ただひたすら時を重ねている石造物、普段見慣れているもの、懐かしさの蘇るもの、初めて出会ったもの。それそれひとつひとつにその歴史や調れを加えて説明してくださり、興味深く、より身近に感じるものになった気がします。最後のイベントに相応しい雰囲気のひとつでした。ありがとうございました。

なお、諏訪形誌活用委員会では、『諏訪形誌』発刊後の五年間で新たにわかったことなどをまとめ、パンフレット『諏訪形誌を歩く』続・諏訪形誌Iの発行を計画しています。予算がないので、軽い装丁となってしまうと思いますが、一読いただけたら幸いです。

併せて、現在の『諏訪形誌Web版』もリニューアルし、『諏訪形誌を歩く』続・諏訪形誌Iのデータも整理して掲載する予定です。出版とWeb版は準備が整い次第、回覧などでお知らせさせていただきます。

開催されました



午後の一暑い時間帯でしたが、公民館の中はエアコンが効いていて、快適な中で熱唱が繰り広げられました。映像はプロジェクターを使用してスクリーンに大画面で映し出し、メロディと歌声は、公民館の音響装置のステ

投稿・・諏訪形シアクラブかてりやの会会計 金井 保芳さん

健康づくりの第一歩！



#0-

最後に、自治会長の水石様をはじめ、かてりやの会長様、諏訪社会福祉協議会会長様、その他役員の皆様には多大なるご協力をいただきました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

受講された方の感想

は感謝をしております

っていることと凄く

枕を点検しよう

夜トイレには起き

日を送る為に、と

投稿.. 諏訪形健康推進委員 森田 緑さん

いに入りました。

てきて頭の下がる思



き、楽しみがどん

スマホカフェ&お楽しみ会

投稿・・諏訪形まちづくり協議会 柳澤公一さん

十名の参加で開催し

りました。

習得しました。

ました。

体を動かしたり、里

ら大笑いをしました

披露できました。

投稿・・諏訪形シ

